

令和元年 6 月吉日

各 位

公益財団法人 古川知足会  
古川美術館

展覧会 取材のお願い

謹啓 平素は格別のご厚情を賜り御礼申し上げます。

この度 古川美術館では中部地方を代表する風景画家たちによる「第 34 回風景の会絵画展」の名古屋展を開催いたします。

風景の会は昭和 61 年に《中部画壇に新風を》と、当時の中部地方を代表する作家たちが、所属団体や会派の枠組みを超えて自由な立場で集った会です。34 回目を迎える本年は、平成から令和への改元を記念して「愛知を描く●平成の残したい風景」とし、平成の 30 余年に培われ、変貌してきた愛知を題材といたします。

東海豪雨、中部国際空港開港、愛・地球博の開催など、自然災害や文化の発展、自然との共生の必要性を感じる出来事など、多くの記憶に残る出来事がありました。そうした愛知の辿ってきた歴史や記憶、文化をそれぞれの画家が描き出します。新しい時代に残したい風景、残すべき風景をお楽しみください。

謹白

展覧会概要

展覧会名 第 34 回風景の会絵画展 愛知を描く●平成の残したい風景（名古屋展）  
会 場 古川美術館  
会 期 令和元年（2019）7 月 2 日（火）～7 月 15 日（月・祝）  
開館時間 午前 10 時～午後 5 時（最終入館は午後 4 時半まで）  
休 館 日 月曜日 但し最終日の 15 日（月・祝）は開館  
主 催 風景の会、中日新聞社  
協 力 古川美術館（名古屋展の会場として）  
入 館 料 大人 1,000 円 高大生 500 円 中学生以下は無料 各種 200 円割引制度あり

【出品作家】各作家 40 号程度 1 点 小品 8 号程度 1 点を出品

飯田 史朗	加藤 勁	島橋 宗文	塚本 英一	平井 誠一
岩原 良仁	加藤 鉦次	菅沼 鉄王	坪井 孟幸	松井 和弘
大島 幸夫	加藤茂外次	鈴木 喜家	中島 佳子	松谷 慶子
片山 宏	木村 光宏	田内 公望	中村 英	村山きおえ
加藤 厚	斎藤 吾朗	竹原 城文	長谷川 仵	森岡 完介

（50 音順、敬称略）

## 広報用画像のご提供について

下記の作品データをご希望の場合、ご連絡ください。メールにて画像データをお送りします。

第34回風景の会絵画展 出品作

木村光宏「知足庵(爲三郎記念館)」2019年



# 風景の会

第34回展 題字：木村光宏

### 【連絡先】

公益財団法人 古川知足会 学芸課 早川祥子

名古屋市千種区池下町 2-50 TEL052-763-1991 Fax052-763-1994

メールアドレス s\_asano@furukawa-museum.or.jp